

8	7	6	5	4	3	2	1
かいがら ○かんじのはなし	あるけ あるけ ○はなしたいな ききたいな ○かぞえうた	おおきな かぶ ○としよかんは どんな ところ ○ことばあそびうたを つくろう ○かたかなを みつけよう ○えにつきを かこう	あひるの あくび ○のばす おん どう やって みを まもるの ○いしやと いしや ○こんな こと したよ	さとう ○きいて つたえ ○ねこと ねっこ ○ことばあそび	とこと ○ことばあそび	あめですよ ○ふたと ○みんなに ○ぶんを	きこえるよ
●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●
	●						

児童用
教師用
聞き取り問題



① せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ただし ことばを えらんで、（ ）に ○を つけましょう。

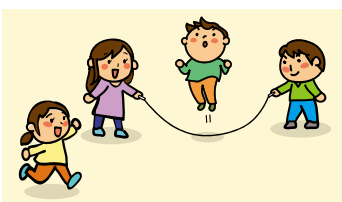
【20各10】

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

1 がっこうから いえへ かえる とき。 2 いっしょに あそびたい とき。



()
()
はよ
ようなら。

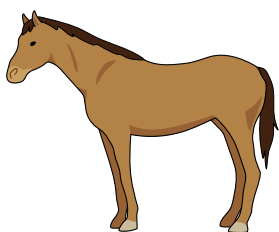


()
() だいじようぶ。
() いれて。

(正しい言葉の () に○を書くように説明を補足してください。)

② せんせいがいう ことばを いて、□に じを

【40各10】



よ



は け



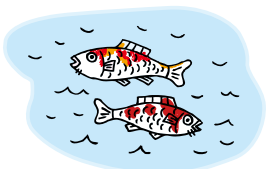
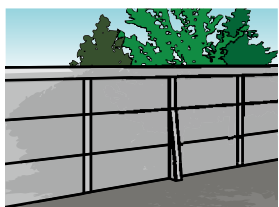
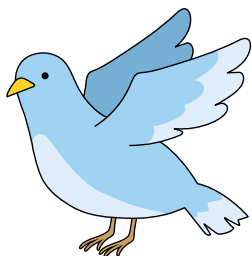
き



る

③ せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ことばを かきましよう。

【40各10】

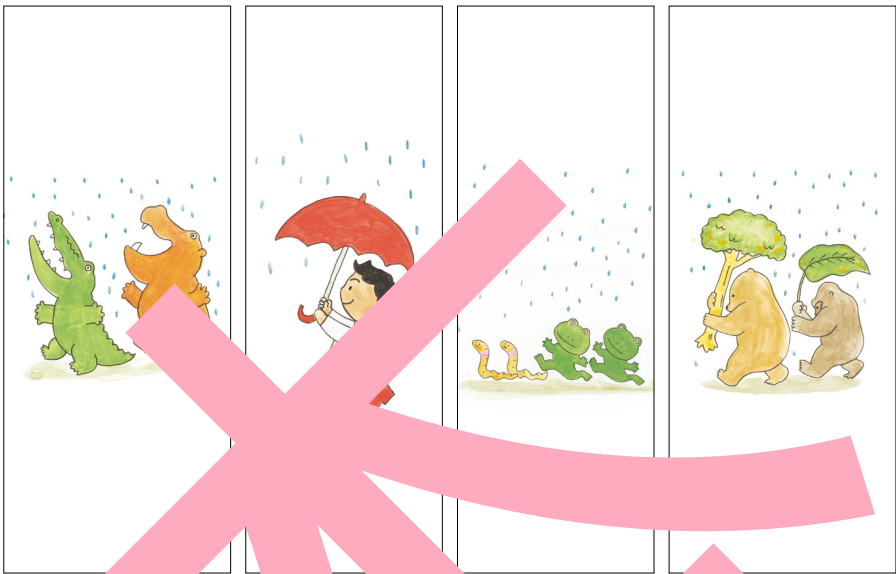


(句点の書き方、使い方を指導しておいてください。)

1 『あめですよ』について もんだいに こたえましょう。

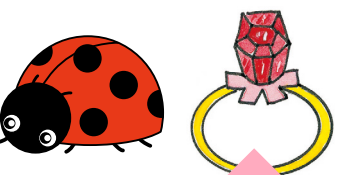
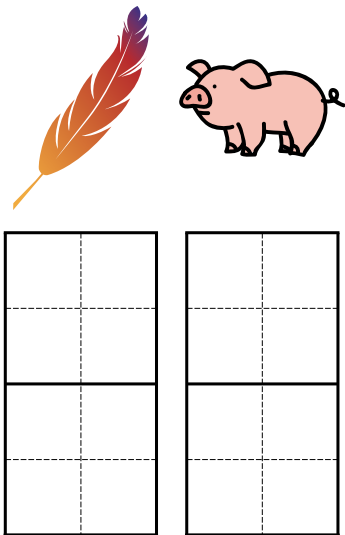
『40各10』

えに あう おはなしを したから えらんで、 ●と○を せんで
むすびましょう。



あめ どん	あめ どん	あめ どん	あめ どん
だい だい	だい だい	だい だい	だい だい
すき すき	すき すき	すき すき	すき すき

2 えを みて、 に ことばを

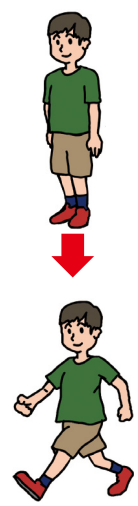


(絵を讀んで説明を補足してください。)

3 したの えに あうように「 が 」の ぶんを ふたつ

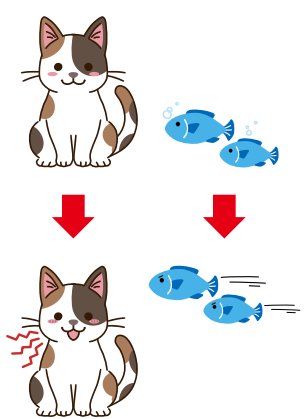
つくりましょう。 ぶんの おわりには も つけましょう。 『20各10』

れい
ひ と が ある く。



1

2



(必要に応じて絵の説明を補足してください。)

さとうと しお
きへを つたえよう
ねいへを つたえよう
ことばを あそび

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。

『50』

さわって みると どうでしょう。
さとうは、すこし べたべたして います。
しおは、さらさらして ます。

どんな あじが するで
さとうは、あまい あじ
しおは、おからい

なにから での
さとうは、はたけの しよくづつ
できます。

しおは、うみの か
どちらも たべものを おいし
「さとうと しよ」

1 さとうと しおには どんな
ちがいが あるのでしょうか。
それぞれ あうように ●と○を
せんで むすびましょう。

〈40 各10〉

さとうは ●

○さらさらして
います。

しおは ●

○すこし べたべた
して います。

さとうは ●

○はたけの しよくづつ
から できます。

しおは ●

○うみの みずから
できます。

2 さとうと しおは、たべものを

どのようにつくりますか。

〈10〉

どちらも たべものを

します。

2 □にあう じを かきましよう。

『20 各5』

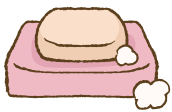
お・を お・を

1 か

あらう。

3 えをみて、□に ことばを かきまし

『10 各5』



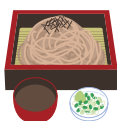


(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 えをみて、しりとりになるように □に ことばを かきましよう。

『20 各10』

みそ



つ

1 つぎのおはなしをよんで、もんだいにこたえましょう。 『50』

「うさぎちゃん、どれがすき。」
①「これよ。これがいちばんすき。」
うさぎのこは、まもようのかいがらをさした。
②「ああ、ぼくとも、おいくまのこも、おいちばんすきでし
もいろいろの、うさぎのか
いったら、くあげつも、おみ
にあげるつも、は、二ばん
めいきに、は、ものな
のです。
③くまのこは、どうし、かとおもいました。
そして、かいがらをそっとしまつて、うちへかえりました。
もりやまみやこ「かいがら」より

1 にあうことばを かえらんでかきましょう。 『10』
また もし だから だって

2 ①「これよ。これがいちばんすき。」
と いったのは だれですか。 『10』

3 なにが ② ぼくといっしょですか。
()に ○をつけましょう。 『10』

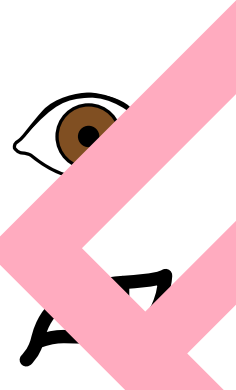
() うさぎのこが ももしろのかいがらを いちばん すきなこと。
() うさぎのこが しまもようのかいがらを いちばん すきなこと。

4 くまのこが 二ばんめいきにいつていた かいがらは なんですか。 『10』

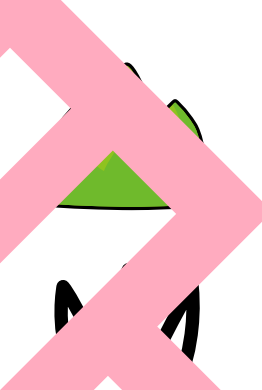
5 ③ どうしようかと おもいましたとありますが、くまのこは、なにをまよっているのですか。 『10』

つぎの それぞれの かたちから ④ どんな かんじを かきましたか。 『30 各5』

よみがなを かきよう。


↓
 ()


↓
 ()


↓
 ()

3 つぎの しるしから できた かんじを に かきましょう。 『20 各10』

1 ● よこぼうより う え

2 ● よこぼうより した

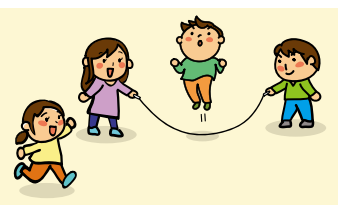
1 せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ただし ことばを えらんで、（ ）に ○を つけましょう。

【20各10】

1 がっこうから いえへ かえる とき。 2 いっしょに あそびたい とき。



() ()
() ()
はよ ようなら。

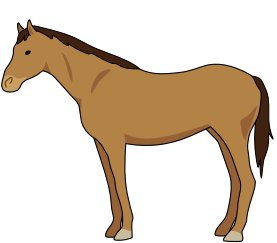


() () だいじょうぶ。
() () いれて。

(正しい言葉の () に○を書くように説明を補足してください。)

2 せんせいがいう ことばを きいて、□に じを

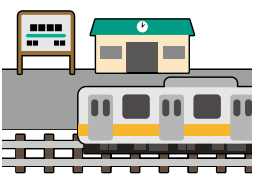
【40各10】



う な



お は け



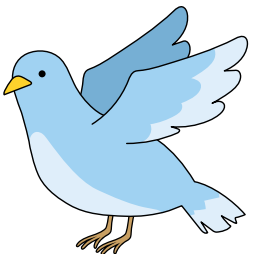
え き



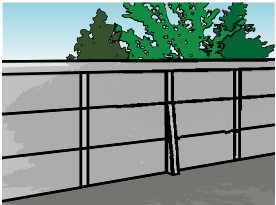
あ る

3 せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ことばを かきましよう。

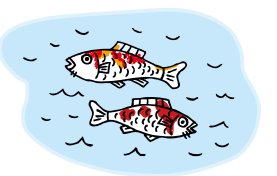
【40各10】



と り



へ い



こ い



つ く し

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
1 年	2
令 8 国 上	
あめですよ	
○ふたとぶた	○みんなはなそう
○ぶんをつくろう	
P 24～37	
な ま え	
■ 知識技能	/60
■ 思考判断表現	/40

(句点の書き方、使い方を指導しておいてください。)

1 『あめですよ』について もんだいに こたえましょう。 『40各10』

えに あう おはなしを したから えらんで、 ●と○を せんで
むすびましょう。



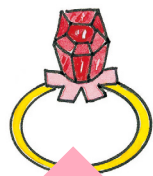
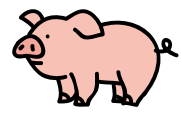
あめ あめ あめ
どん どん どん

あめ あめ あめ
どん どん どん

あかい かさ
あかい ながぐつ
らん らん らん

あめ あめ きらい
ぶう ぶう ぶう

2 えを みて、 に ことばを かんがえて、 ぶんを つくろう。 『40各10』



は ね

ぶ た

て ん

む かし

む し

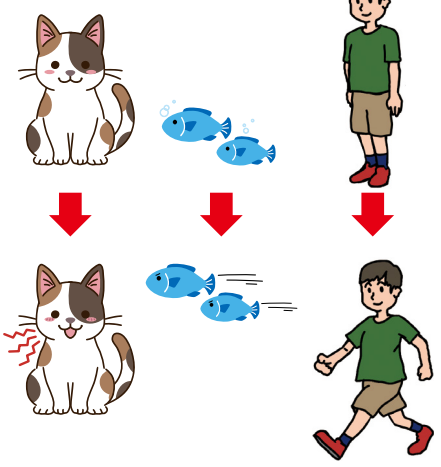
3 したの えに あうように「 が ぶんを ふたつ つくりましょう。 ぶんのおわりには 〇 も つけましょう。 『20各10』

れい ひとがあるく。

1 さかながおよぐ。

2 ねこがなく。

※句点がなければ2点減点。(教師判断)(必要に応じて絵の説明を補足してください。)



(設問については、児童の実態により、補説してください。)

知識 技能	／50
思考 判断 表現	／50

1 つぎのおはなしをよんで、
もんだいにこたえましょう。

『50』

① ねずみは、ゆかをたたきました。

とん こと とん。

へんじが ありませ

だれかが、とびらを

「きみの いえの

ひっこして きた

よる へね。」

③ ふたりは、かよ

とん こと と

「おやすみなさ

とん こと とん。

④ 「また、あした。」

「また、あした。」

「また、あした。」

ぶしかえつこ「とん こと とん」より

1 ねずみは、ゆかをたたきました
とありますが、どんな おとがし
ましたか。 〈10〉

とん こと とん

2 とびらをたたきましたとあり
ますが、だれがたたきましたか。 〈10〉

もぐら

3 ③ ふたりとは、だれとだれですか。 〈20各10〉

ねずみ

もぐら

4 ④ 「また、あした。」 といって いる

ときの きもちを、くらんで、 〈10〉

うるさあ。ねむれないよ。

2 したのえをみて、□にあう

かきしょう

『20各5』

わ・は

は

わ・は

は

、しろい。



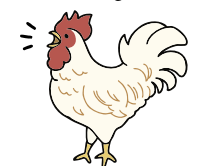
2 に

は

は

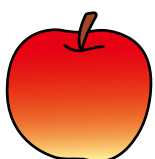
は

、なく。



3 えをみて、□にことばをかきましょう。

『30各10』



りんご



わに



あり

『30各10』

※無断で複写・複製をすることは禁じます。

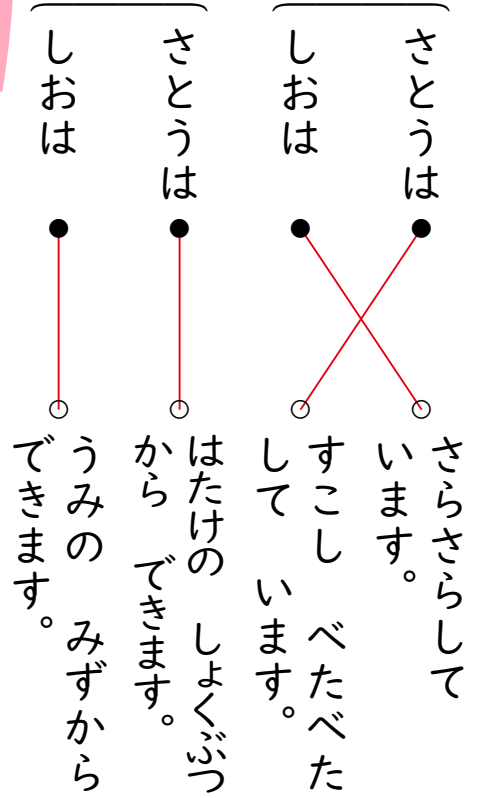
1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。

『50』

さわって みると どうでしょう。
さとうは、すこし べたべたして います。
しおは、さらさらして ます。
どんな あじが するで しょう。
さとうは、あまい あじが します。
しおは、おからい あじが します。
なにから どの よういふついで しょう。
さとうは、はたけの しよくづつ できます。
しおは、うみの みずから できます。
どちらも たべものを おいしく します。
「さとうと しおより」

1 さとうと しおには どんな
ちがいが あるのでしょうか。
それぞれ あうように ●と○を
せんで むすびましょう。

〈40各10〉



2 さとうと しおは、たべものを
どの ように しますか。

〈10〉

どちらも たべもの
を おいしく します。

2 □にあう じを かきましよう。

『20各5』

1 か
お・を お・を
あらう。

え
え
え

3 えを みて、□に ことばを かきまし

『10各5』

せ っ
け ん

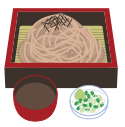
ね っ
こ

(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 えを みて、しりとりに なるように □に ことばを かきましよう。

『20各10』

み そ
そ ば
ば っ
た



(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえて、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。 『50』

① これは、
あるまじろの からだの そとが
わは、かたい こうに なって
います。

② どのように して
のでしょうか。

あるまじろは、か
て、みを まもりま
てき きたら、
こうらだ みを
じつとして ま



2 あるまじろの からだの そとがわ
はどうなっていますか。 『10』

かた いこうら
に

3 あるまじろは どのように して
みを まもるのですか。 『30各10』

あるまじろは、からだを

まる めて、みを

まもります。

きが きたら、

こうらだ だけを みせて、

います。

じつ と

あるまじろ

なまえを に
ましまし
こうぶつ
の
10

2 の うえの じを のばして よ
「あ・い・う・え・お」を かきまし
『15各5』



とけ

い



あ

さ

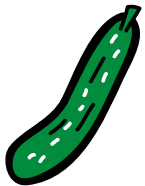


そ

う

じ

3 えをみて、
に ことばを かきまし
『20各10』



き
ゆ
う
り



し
よ
っ
き

(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 がっこうで した ことで、ともだちや いえの ひとに しらせたい ことを
くわしく かきましよう。 『15』

ろ	ま	○
い	し	ぼ
は	た	く
な	ど	は
し	う	ひ
で	ぶ	る
し	つ	や
た	が	す
	で	み
	て	に
	き	ほ
	て	ん
	お	を
	も	よ
	し	み

※・詳しい文
句読点が正しい
各5点×3 (教師判断)

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
1 年	8 国じょう
かいがら ○かんじのはなし	
P118～129 な ま え	
■ 知識技能	/50
■ 思考判断表現	/50

1 つぎのおはなしをよんで、もんだいにこたえましょう。 『50』

「うさぎちゃん、どれがすき。」
「これよ。これがいちばんすき。」
うさぎのこは、まもようのかいがらをさした。
「ああ、ぼくといい。」
くまのこも、おもしろい。
いちばんすきでし
もいろいろの
いったら、く
にあげるつも
もいろいろの
めにきに
のです。
くまのこは、どう
おもいました。
そして、かいがらをそっと
まっ、うちへかえりました。
もりやまみやこ「かいがら」より

1 にあうことばを か
えらんでかきましょう。 『10』
また もし だから だって

2 「これよ。これがいちばんすき。」
と いったのはだれですか。 『10』

うさぎ うさぎのこ
うさぎちゃん (教師判断)

3 なにが ぼくと いっしょですか。
()に ○を つけましょう。 『10』

() うさぎのこが ももしろのかいがらを いちばん すきなこと。
(○) うさぎのこが しまもようのかいがらを いちばん すきなこと。

4 くまのこが二ばんめいきに
いって いたかいがらは なんです
か。 『10』

ももしろのかいがら

5 どうしようかと おもいましたと
ありますが、くまのこは、なにを
まよって いるのですか。 『10』

しまもようのかいがらを
うさぎのこにあげることを

※一番好きなかいがらをうさぎのこにあげようかまよっていることが書かれていればよい。
※句点がなければ2点減点。
※文末は問わない。

つぎの それぞれの かたちから
どんな が できましたか。
に かんじを き、()に
よみがなを かき しょう。 『30各5』

川 山

目 (め) 川 (か) 山 (やま)

3 つぎの しるしから できた
かんじを に かきましょう。 『20各10』

1 ● よこぼうより うえ
2 ● よこぼうより した

上 下

東 書	
1 年	7
令 8	国 上
き あるけ	あるけ
〇はなしたいな	ききた
〇かぞえうた	な ま え
06~117	
知識技能	/40
思考判断表現	/60

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

聞き取り問題

※はじめにテストを音読して取る。
必要であれば学級の実況や音読の音声を添えてもよい。

二次元コードの読み取りもしくはクリックで再生

音声データ



※問題文が読み上げられます。

1 聞き取り問題を始めます。(確認する。) ゆうさんは、

夏休みの出来事をみんなに話した。今からそのゆうさんの話をきいて、なしを二回読みます。
全部聞き終わってから、問題に答えます。 (一回、二十秒程度の目安で読む。)

わたしは なつやすみに ながしそうめんを 食べて、お風呂に入りました。
いえの にわで しました。そうめんを 食べて、お風呂に入りました。
か どきどきしました。たくさん つかって、お風呂に入りました。
かったです。

らいねんは ともだちも よんで、いっしょに ながしそうめんを 食べて、お風呂に入りました。
(もう一度読みます。)

これで読むのは終わりです。テストを表にして始めましょう。